

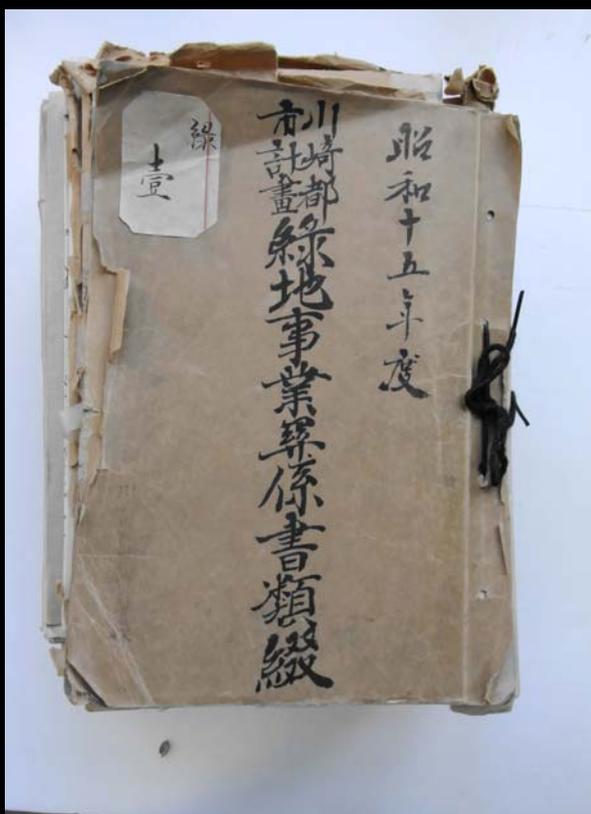
川崎市公文書館だより

~Kawasaki City Archives News~



KAWASAKI CITY

第19号 平成23年2月



昭和15年度
川崎都市計画緑地事業関係書類綴



生田緑地計画決定文書

大正の末から、川崎では工業化・人口増加が急激に進み、都市問題が深刻化しました。その対応策のひとつとして、昭和16年（1941年）に市が立案した緑地新設計画が内閣から認可されました。これが現在の生田緑地で、上の史料はその決定書類とそれを収めた歴史的公文書です。決定時期が太平洋戦争開戦の年であることからわかるように、この緑地は空襲時の退避場所の意味も含めたものでした。

生田緑地は現在、市内最大の都市公園であり、今秋には「川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム」の開館も予定されています。

発行 川崎市公文書館

古文書講座・歴史講座は今年も賑わいを見せました。



▲中級古文書講座
(講師は岡崎寛徳氏)

公文書館の講座はいつも多くの方に関心を持っていただいています。本年度の全講座の平均応募倍率は約1.5倍と人気があり、各講座とも抽選機を使用して厳正な抽選を行い、受講者を決定しています。

講座を受講された方々は熱心に講師のお話に耳を傾け、積極的に質問をされていました。

また今回初めて、歴史講座の一部で動画を取り入れる試みを行い、よりわかりやすい講座になるよう、工夫を凝らしました。

公文書館では、川崎に関連した古文書や歴史的資料を通じ、川崎市域の歴史・文化に関心を持っていただき、公文書館の利用推進のため、古文書講座(入門・初級・中級)及び歴史講座を毎年開催しています。

本年度は2月6日の中級古文書講座で予定の講座は終了し、すでに来年度に向け、講師の手配などの準備を始めています。来年度の講座等の内容及び募集時期については、市政だよりなどでお知らせします。

各講座で使用した資料は、
公文書館にて500円で販売していますので
お問合せください。

3月には歴史講演会を開催します。

平成22年度 歴史講演会

江戸・東京420年を支えた川崎の立地と発展

～人の集まるまち、かわさき～

平成23年3月13日(日)午後2時～
エポックなかはら
村上直氏(法政大学名誉教授)

※募集は終了しました。

平和館・公文書館共催

川崎大空襲記録展のお知らせ

平成23年度の講座等の予定

3月～5月

平和館との共催
「大空襲記録展」

9月

入門古文書講座（全3回）

11月 歴史講座（全3回）

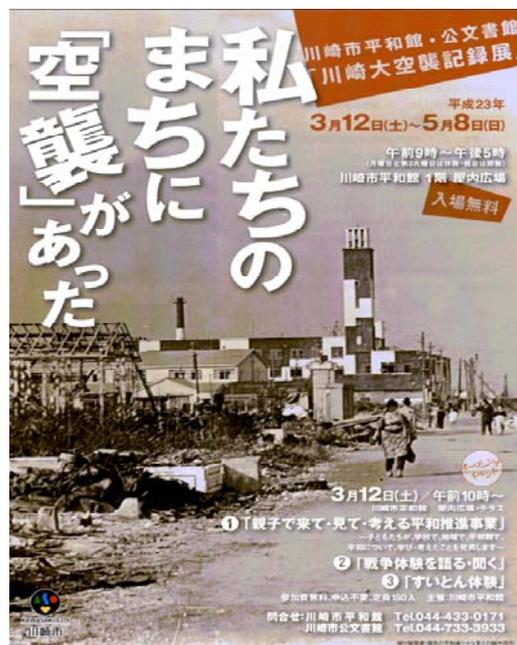
11月～12月

初級古文書講座（全4回）

1月～2月

中級古文書講座（全4回）

3月 歴史講演会（1回）



こもんじょの種 ⑦ ～ 古文書で敬意を表す表現 ～



丁寧語の「です・ます」に相当する「候」を用いて書かれた江戸時代の文書には、相手への敬意を表す方法は文章だけでなく書式でも表すことがありました。今回は、書式で敬意を表す表現をご紹介します。

闕字・欠字(けつじ)：文章中に天皇や貴人に関係した言葉や称号が出てきたとき、その文字の上に一、二字程度の余白をあける。

平出(へいしゅつ)：天皇・皇室などに関する文字が出てきたとき、行を改め前の行と同じ高さにその文字を書く。

台頭(たいとう)：行を改めるだけでなく、書き始めの行の高さを前の行よりも高い位置に上げる。

敬意の表れは、闕字→平出→台頭の順に高くなります。表現方法や使用頻度によって、その文書の作成者が宛てた相手へどのくらいの敬意をはらっていたかを見て取ることができます。

「被仰付候」
とかでよく目に
するよ♪



